

うめ吉新聞

臨時号

発行所
株式会社サトウ企画内
松山うめ吉後援会事務局
〒166-0004
東京都杉並区阿佐谷南
1-36-30

TEL : 03-3315-3168
FAX : 03-5377-4646

・うめ吉ホームページ・
<http://www.satoh-k.co.jp/ume/>

韓流から和流へ？

巷ではおばさんが韓流ならおじさんは和流でいこうという御仁も出現！
うめ吉の身辺もさざ波が大きくなる兆候アリ

昨年一年は稲妻オーケストラとのコラボレーションが中心だったために休止中のうめ吉 & おてもと社中の活動が再開されます。
乞うご期待！



▶おてもと社中との活動に向け新曲アレンジ中？のうめ吉

五月十八日CDリリース速報

大変お待たせいたしました。
来る五月十八日に新屋堂のレーベル「オーマガトキ」より「うめ吉」の通算四枚目のアルバム「明治大正 はやりうた」がリリースされます。全十二曲入りのアルバムです。これは、一九九八年頃からサトウ企画のスタジオで録りだめされていた膨大な音源の中から、「オーマガトキ」さんの希望に基づきセレクトされたものです。

同、新屋堂では、この四月六日から「和流キャンペーン」を展開の予定。その中にはもちろん「お国めぐり」蔵出し名曲集も入れている。このアルバムが合流する事になります。詳しくはまた情報が入り次第お知らせをさせていただきます。ちなみにこのアルバムのカバーコメントは特別に、「うめ吉」も大ファンの小沢昭一さんが書いて下さいました。

「うめ吉」大感激！



うめ吉
明治大正はやりうた

定価 二、三〇〇円(税込)

- うめ吉 明治大正はやりうた
- 一 猫ぢや猫ぢや
- 二 月は無情
- 三 ストトン節
- 四 首長の娘
- 五 ラッパ節
- 六 シャンラン節
- 七 ズンペラ節
- 八 すててこ
- 九 酒呑めば
- 十 縁かいな
- 十一 大工さん
- 十二 都々逸



二月三日 豆まき



恒例の妙法寺での「節分会」に昨年はお休みしましたが、今年には参加をさせて頂きました。三遊亭右紋師匠の音頭で集まる落語芸術協会の二ツ目さん達に混じって、今年も元気いっぱい「福は内!!」を連呼した「うめ吉」でありました。手品の松旭齋小天華先生は酉年だそうで、演芸会にも参加をされました。「鶏」をあしらった着物がとても素敵！地元代表の落語家、三遊亭円右師匠も相変わらず楽しい噺で盛り上がりました。
今年も天候にも恵まれてたくさんの方の参拝者が詰め掛け、当日二回目の豆まきには地元杉並の「石原のぶてる」氏も参加、大人気でした。

お石井の おとちきちん

小倉一郎さんがうめ吉の曾お祖父ちゃんを演じています。

映画「石井のおとうさんありがとう」をご存知ですか？
明治という時代に岡山に孤児院を作り、たくさんの子供達を救うという偉業を成し遂げた石井十次氏の実話です。それを支えた人物として倉敷紡績の社長で大原美術館などを作ったことでも有名な大原孫三郎氏、薬種商の林源十郎氏、元芸者の炭谷小梅さんなどが登場し、史実に基づきかなり忠実に作られた映画に仕上がっています。そこには明治時代のキリスト教布教の背景が深く関わっており、この映画は多くの福祉関連団体の寄付により制作費が集められました。にも関わらずキャストはとも豪華な顔ぶれがそろっています。石井十次にはあの松平健さん、その妻には永作博美さん、大原孫三郎には辰巳琢郎さん、芸者小梅には竹下景子さんです。



そして、劇中に登場する林源十郎という人物は、「うめ吉」の曾祖父であります。演じているのは小倉一郎さん。「うめ吉」本人は曾おじいさんとはだいぶキャラクターが違うと言っています。とはいえ写真でしか知らないそうですが…。

興味のある方は機会があったら観てみてください。明治時代に福祉の精神を実践された石井十次さんという方の素晴らしさを、同じ岡山県人として一人でも多くの方に知っていただきたいとのこと。そういう「うめ吉」もこの映画の話を聞いて初めて知ったのですが…。詳しくは是非映画をご覧になって下さい。また、この映画については別の機会に触れたいと思います。

お問い合わせ

現代ぶろだくしよん

〇三(三三七)三九二五

関東地区の方はチケットぴあで

前売り券が購入できます

Pコード四七三二四五六

前売券 一、二〇〇円

当日券 一、六〇〇円

<http://www.gendaiapro.com/juji/>

「うめ吉」幼児向けビデオに登場!!

通信教育で有名な株ベネッセコーポレーションの幼児向けビデオに「うめ吉」が参加しました。いわゆる言葉のお遊びのような趣向で、「ガ」などの濁点が付く言葉の歌と「ぼ」などの半濁点が付く言葉の歌を、それぞれ三味線を弾きながら歌うというもの。作家でありプロデューサーの葉方さんがお作りになった詩に三味線の伴奏を「うめ吉」が考え、同時に歌の節を付けていくという「うめ吉」にとって初めてであり楽しい経験。何とか子供達が聞いて楽しく口ずさめるようにと考えることは、結構「うめ吉」の性に合っていたようです。曲が出来上がり、ロケーション現場はなんと「新宿末廣亭」。プロデューサーの葉方さんは寄席にも精通。

お席亭の北村社長とも親しい間柄です。以前から「うめ吉」の起用を考えてくださっていたとの事。今回は寄席と全く同じビデオスタイルでの参加となりました。撮影は末広亭の夜席が終わった後に行われ、末広亭の北村社



▶プレイバックチェック中

長も顔を出されました。場所がいつもの寄席とはいえず「うめ吉」かなり緊張状態でしたが撮影は順調に二時間ほどで終わりました。これからさらにアニメーションやCG映像を重ねるとの事で、どんな風に仕上がるのか楽しみです。残念な事にこのビデオはベネッセさんと契約しているお子さんのいるご家庭にしか配布されません(今年の六月号)。二万本くらい制作されるそうで

すが、またビデオが完成しましたらその写真等も掲載したいと思います。



▶葉方さんと綿密な(?)打ち合わせ中

今後ともご支援
の程、よろしく
お願い申し上げます。
うめ吉



▶末広亭高座にて撮影中